

シリーズ「わがまち港北」は、 区内の様々な団体が歴史や場所をつなぐ 「わがまち港北スポット」に引き継がれます。

これまでシリーズ「わがまち港北」は、港北区の歴史や魅力をわかりやすく紹介することを目的に、大倉精神文化研究所所長平井誠二さん、同研究員林宏美さんに執筆いただきました。

一方で、港北区では、現在、区内の歴史や文化、場所等を区民の方に伝える活動をしている団体が数多く活動されています。

そこで、今月号からは、大倉精神文化研究所のシリーズ「わがまち港北」だけでなく、区内の様々な団体にそれぞれ一推しの「わがまち港北」を紹介していただく、「わがまち港北スポット」をお届けすることにします。

第1弾となる今月号では、これまで「わがまち港北」を執筆いただいた大倉精神文化研究所と港北区役所にある屋上庭園をご紹介します。



「わがまち港北」スポット

大倉精神文化研究所(大倉山記念館内)

東急東横線大倉山駅の坂をのぼった木立の中に港北区のランドマークともいべき横浜市大倉山記念館があります。この建物は昭和7年(1932年)、実業家の大倉邦彦によって大倉精神文化研究所の本館として建てられたものです。

昭和59年(1984年)に横浜市の市民利用施設となり、ホールでのコンサート、ギャラリーでの展示、集会室の活用など市民の文化・学習活動の場として広く利用されています。

建物内では現在も(公財)大倉精神文化研究所が活動しています。

平井所長に伺いました。「研究所の役割は、人としての生き方を考える精神文化に関する研究、哲学や宗教、歴史、文学などのさまざまな資料が保管されている附属図書館の公開、さらには地域における歴史・文化の研究及びその普及です。港北区の歴史や文化を紹介することを目的とした、シリーズ「わがまち港北」は、研究所の公益活動の一環として連載をお引き受けしてきました。

連載開始当初は、こうした地域の歴史・文化を発信する環境が殆どありませんでしたが、今では港北区の昔ばなしを題材とした紙芝居の創作活動や、港北ボランティアガイドによる散策、わがまち港北映像プロジェクトなど、多くの方達が港北の歴史や魅力を発信しています。『楽遊学』のリニューアルを機に、そうした様々な団体が「わがまち港北スポット」のページを通して港北区の魅力を発信し、区内の様々なスポットが区民みんなの財産となるよう、研究所も協力していきます。その一部として、シリーズ「わがまち港北」も不定期ですが引き続き発信していきたいと思えます。」

新緑の大倉山記念館、大倉精神文化研究所附属図書館へ是非おでかけください。



横浜市大倉山記念館

住所：港北区大倉山2-10-1

交通：東急東横線「大倉山駅」徒歩7分
(駅横の「記念館坂」登る)

シリーズ「わがまち港北」のバックナンバーは、大倉精神文化研究所のホームページで第1回からご覧いただけます。大倉山記念館の歴史や大倉山記念館にまつわる様々なエピソードも掲載されています。

わがまち港北 バックナンバー

検索



シリーズ「わがまち港北」は、『わがまち港北』(第1回～120回)、『わがまち港北2』(第121回～180回)として刊行されています。こちらも併せてお楽しみください。

【問合せ先】

大倉精神文化研究所 045(834)6637

